ＮＯ．３	議席番号	氏　　名	質問事項・要旨及び答弁者
	９	竹　田　　努	

１．災害対策（台風、大雨）について 今年も西日本では前線の停滞による長期間の長雨や集中豪雨により、河川の氾濫や土石流等で、甚大な被害が出ています。 ８月には、函館東部地区にも、観測史上最大の降水量によって、避難指示が出される事態となりました。 近年は、地球温暖化の影響で異常気象、豪雨も北上傾向になりつつあるが、当町においては、雨量も少なく災害もなかったため安どしているところです。 今後は、今まで大きな災害がなかったから大丈夫ではなく、何時災害が発生しても対応できる心構えが必要であり、あらゆる災害を考慮した対策をすべきと考えますので、以下の点について町長の見解を伺います。 （１）河川の雑木や河口堆積土砂は、増水時には氾濫に繋がる要因になると思うが、今後の雑木処理及び河口部堆積土砂撤去の実施時期はいつ頃の予定か。 （２）本町地区のバイパスや釜谷地区での高波、越波については、台風等の暴風雨の際は、非常に危険な状況です。これを防ぐには、人工リーフや離岸堤の設置が急務と考えますので、北海道との協議がどこまで進んでいるのかお聞かせ願います。 （３）防災訓練、避難施設の新型コロナ対策（防災備品含む）について	町　　長

２．新型コロナウイルス感染症対策について 北海道での新型コロナウイルス感染症の新規感染者が８月中旬以降急増し、８月２７日から３回目となる緊急事態宣言が発令されました。 このことを踏まえ、町では地方創生臨時交付金を活用して、公共施設を中心に感染症対策事業に取り組んでいるところですが、渡島地方においてもクラスターの発生など、新規感染者が急増しています。 傾向としては、若年層の感染が増加していることに加え、「デルタ株」が主流となってきたことであります。 誰もが木古内町は安全な町だと認識できるまちづくりが必要と考えるが、以下の点について教育長に伺います。 （１）パークゴルフ場について、緊急事態宣言時には町内利用者のみとしております。町外のシーズン券購入者は、利用しないことで協力いただいておりますので、シーズン券の軽減等を考えないのか。 （２）緊急事態宣言後の児童生徒の全道・全国大会出場への取り扱いについて教育長の見解を伺います。	教　育　長